お手入れする 1

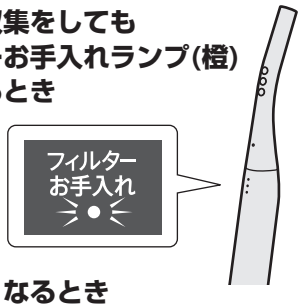
動画

フィルターケース (本体フィルター・フィルターふた・フィルターカップ)

お手入れの目安

■吸込力が弱くなったとき

■自動ゴミ収集をしても フィルターお手入れランプ(橙) が点灯するとき



■本体が熱くなるとき

■細かい粉類を吸わせたとき

■ステーションの紙パック交換時

- お手入れせずに運転を続けると自動停止します。必ずお手入れしてください。
- フィルターお手入れランプが点灯したときは本体フィルターを水洗いしてください。

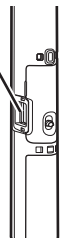
水洗いした後は充分に乾かしてください

- 水気をしっかり切り、タオルなどで水分をやさしく拭き取って、風通しのよい所で陰干しして、充分に乾かしてください。(においの発生や故障の原因)

乾燥時間目安：12時間(環境や季節によって異なります)

- ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。(変形や故障の原因)

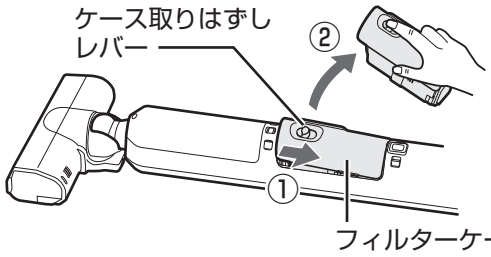
1 取りはずす



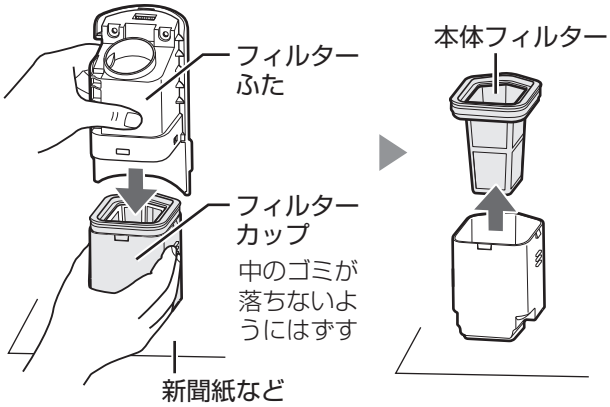
- **シャッターが閉じていることを確認してから、フィルターケースを取りはずしてください。シャッターが開いていると、取りはずしできなかったり、破損の原因になります。**
(シャッターが閉じないときは下記参照)

① ケース取りはずしレバーを矢印方向に引きながら

② フィルターケースを取りはずす

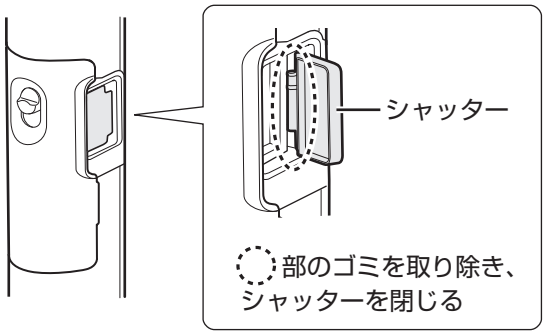


③ フィルターふたからフィルターカップをはずし、本体フィルターを取り出す



シャッターが閉じないときは

シャッターに付いたゴミを取り除いてください。



水洗いできるもの



⚠ 警告

お手入れ時は必ず運転を停止し、ステーションの電源プラグを抜く
【感電・けがの原因】

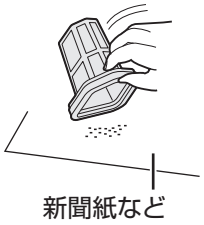
2 お手入れする

① ゴミを捨てる



② 本体フィルターを軽くはたいて
ゴミやほこりを落とす

- **歯ブラシやつまようじなどで フィルターをこすらない。 (表面を傷め、性能低下のおそれ)**



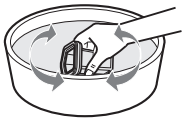
③ 本体フィルターを水洗いする

水洗いした後は充分に乾かしてください

流水で洗う

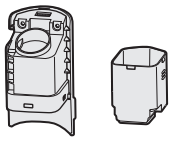


溜めた水の中でよく振り、
ゴミを出す



- においや汚れが気になる場合は、衣類用漂白剤10mLに対し、水1Lで薄めた液に約3時間つけた後、水洗いする。

フィルターふた・フィルターカップの汚れがひどいときは、水または薄めた中性洗剤で洗う。

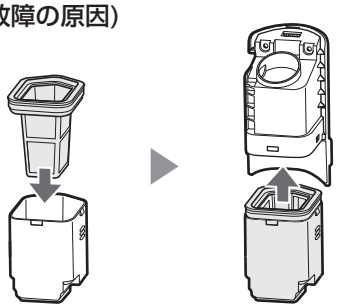


- **シンナー・ベンジン・アルコール類(除菌シートなども含む)やお湯(約40℃以上)は使わない。**

3 取り付ける

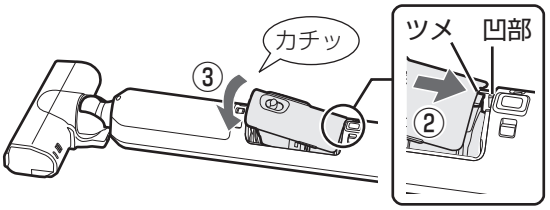
① 本体フィルターをフィルターカップに付け、
フィルターカップをフィルターふたに付ける

- **フィルターは必ず取り付けてください。 (故障の原因)**



② フィルターケースのツメを
本体の凹部に合わせて

③「カチッ」と音がするまで押し込む

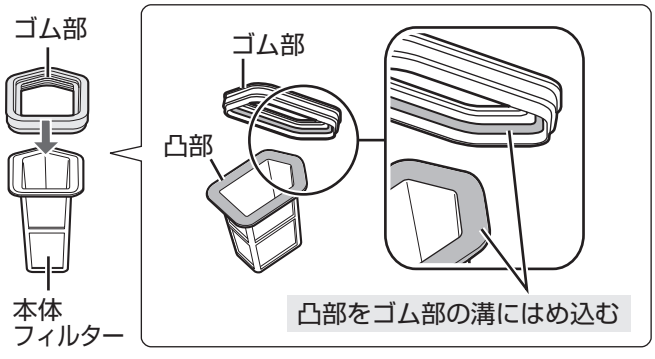


お願い

- **フィルターケースを本体に正しく取り付けてください。 (吸込力の低下や異音、モーターにゴミが入るなど、故障の原因)**

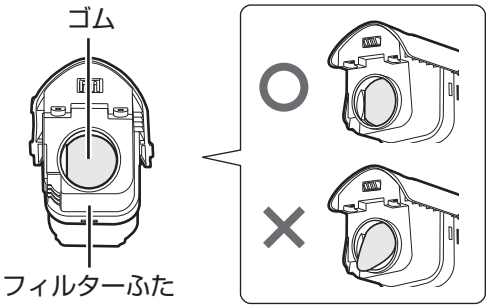
本体フィルターのゴム部がはずれたら

下図のように、ゴム部を取り付けてください。



フィルターふたのゴムがはみ出していたら

下図のように、ゴムを納めてください。



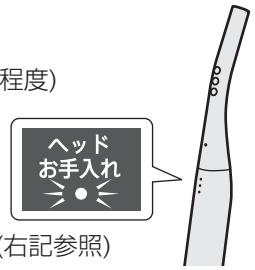
お手入れする 2

吸込口(ヘッド)・LEDライト・回転ブラシ

お手入れの目安

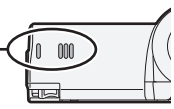
■吸込力が弱くなったり、汚れが気になるとき (月1回程度)

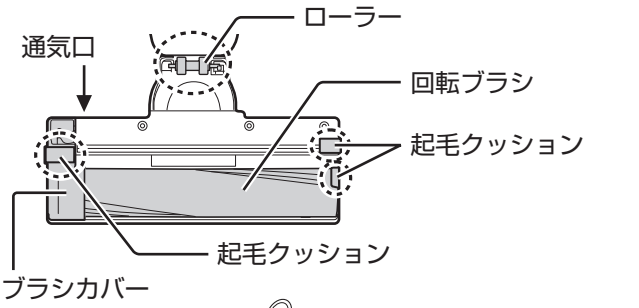
■ヘッドお手入れランプ(赤)が点灯したとき
回転ブラシを取りはずしてゴミを取り除いてください。(右記参照)

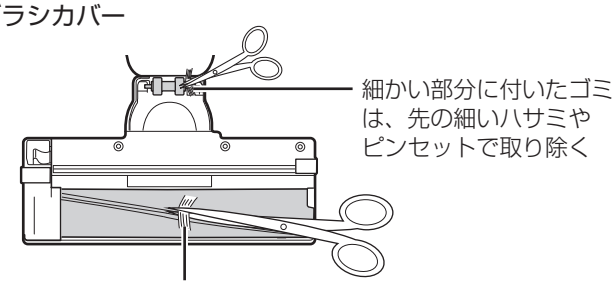


吸込口に付いたほこりをすき間ノズルで吸い取り、
◌ 部にからみ付いた毛・糸くずを切り取ってから、
水を含ませて固く絞った布で拭く。

通気口に付いたほこりも吸い取ってください。





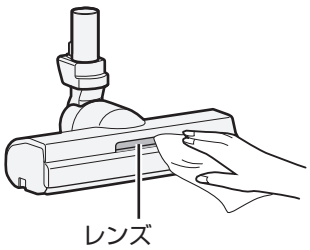


◌ 部が摩耗した場合は使用を中止し、
お買いあげの販売店にご相談ください。

LEDライトのお手入れ

乾いたやわらかい布で、LEDライトのレンズに付いた汚れを拭き取る。

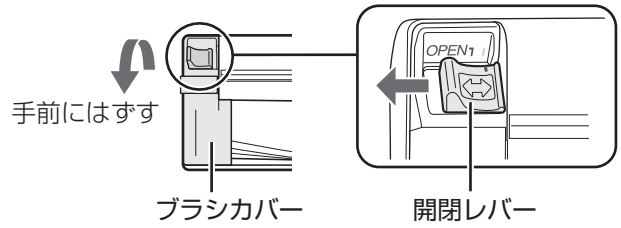
- 水拭きしないでください。(内部に水分が入ると故障の原因)
- レンズを強く押さないでください。



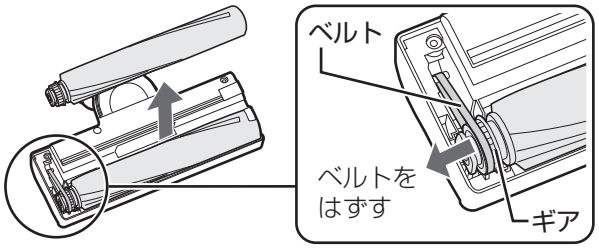
回転ブラシを取りはずしてゴミを取り除く

回転ブラシを取りはずす

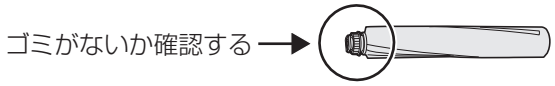
① 開閉レバーを「OPEN」までスライドさせブラシカバーをはずす



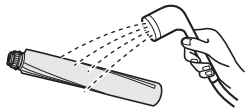
② 回転ブラシを持ち上げながらベルトをギアからはずす



③ 回転ブラシに巻き付いたゴミを取り除く



汚れがひどいときは回転ブラシを水洗いできます



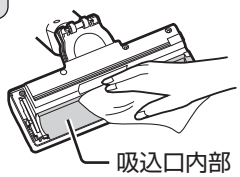
ブラシを強くこすらないでください。

お願い

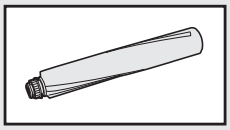
- 洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール類(除菌シートなども含む)やお湯(約40℃以上)は使わないでください。(変質や変形の原因)
- 水洗いした後は、水気をしっかり切り、風通しのよい所で陰干しして、充分に乾かしてください。
- ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。(変形や故障の原因)

吸込口全体は水洗いできません

吸込口内部の汚れが気になるときは、水または薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭き取ってください。



水洗いできるもの



⚠ 警告

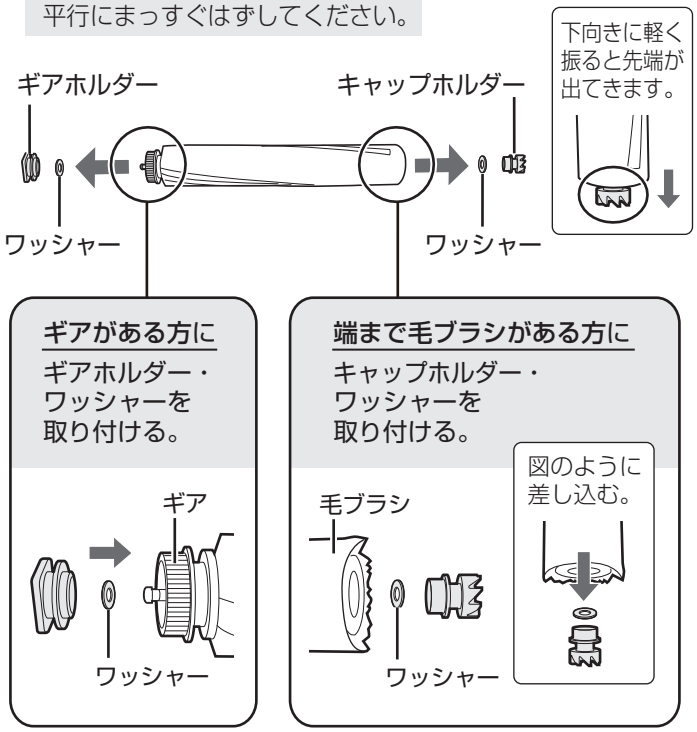
お手入れ時は必ず運転を停止し、ステーションの電源プラグを抜く
【感電・けがの原因】

回転ブラシの「両端」にゴミがからみ付いたときは

回転ブラシ両端の**ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャー**をはずして、ゴミを取り除いてください。
奥にゴミが詰まっていないか確認してください。

ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを紛失しないよう、ご注意ください

平行にまっすぐはずしてください。



お願い

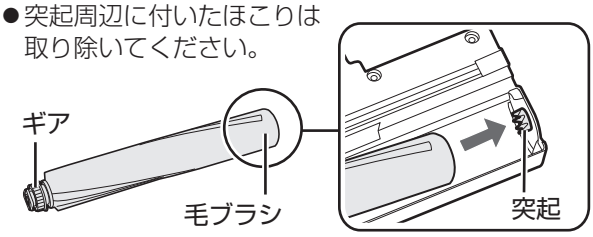
- お手入れ後は必ず、ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを取り付けてください。
- 回転ブラシが取り付けできない場合は、ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを正しく取り付けているか確認してください。

お手入れ後は回転ブラシを正しく取り付けてください。

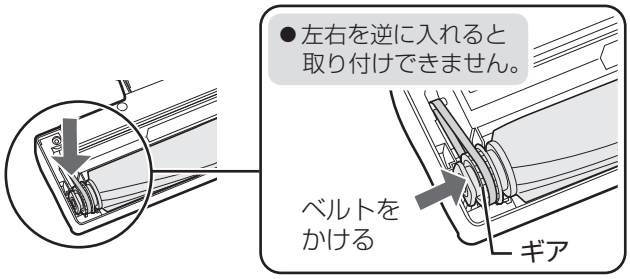
回転ブラシを取り付ける

① 端まで毛ブラシがある方を突起に差し込む

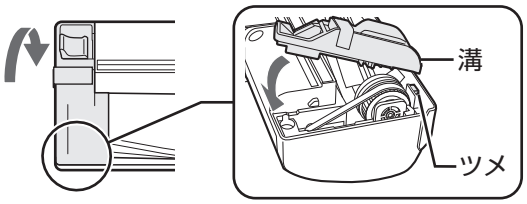
- 突起周辺に付いたほこりは取り除いてください。



② 回転ブラシのギアにベルトをかけ、溝に入れる

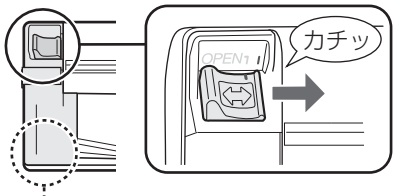


③ ブラシカバーの溝をツメにかけて取り付ける

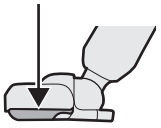


④ 開閉レバーを矢印の方向にスライドさせる

- しっかり閉まっていることを確認してください。



側面からみてすき間が開いていないことを確認する



すき間が開いている場合はここを上から押し、はめ込む

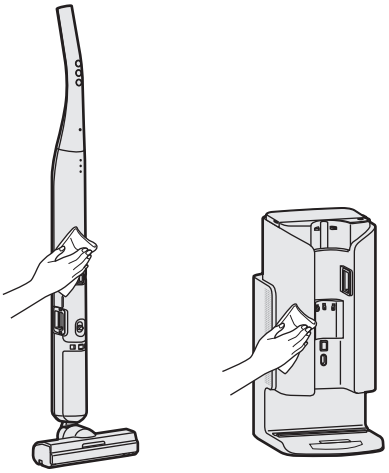
お手入れする 3

本体・ステーション 汚れが気になるときに

水または薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で汚れを拭き取る。

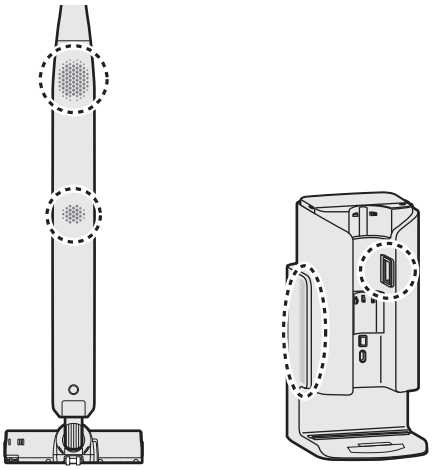
- シンナー・ベンジン・アルコール類(除菌シートなども含む)やお湯(約40℃以上)は使わないでください。(変質や変形の原因)

ご注意 ●本体・ステーションは水洗いできません。



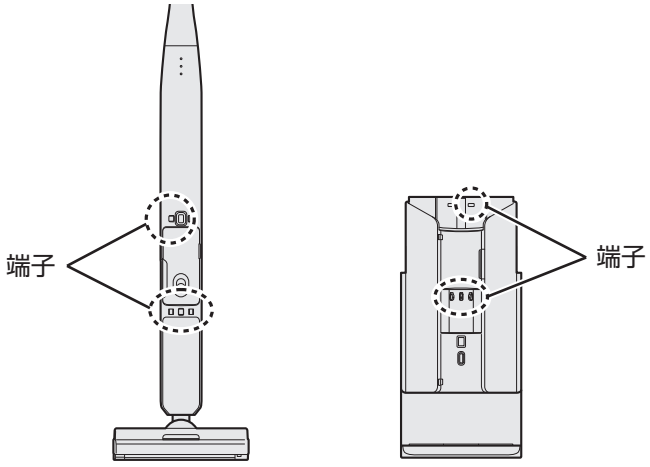
排気口・吸気口 汚れが気になるときに

○部のゴミを取り除く。

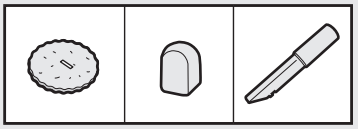


充電部の接点(端子) 汚れが気になるときに

乾いた布で汚れや異物を取り除く。



水洗いできるもの



警告

お手入れ時は必ず運転を停止し、ステーションの電源プラグを抜く
【感電・けがの原因】

収集部フィルター

お手入れの目安：紙パックを交換しても、またすぐに紙パック交換ランプが点灯するとき 汚れが気になるとき

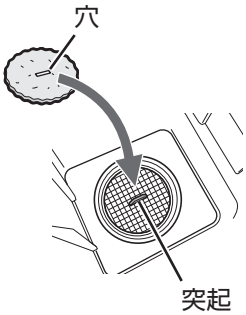
水または薄めた中性洗剤で軽くもみ洗いする。水洗いした後は、充分に乾かしてください。

- シンナー・ベンジン・アルコール類(除菌シートなども含む)やお湯(約40℃以上)は使わないでください。
(変質や変形の原因)



付けかた

フィルターの穴を突起に合わせてはめ込む。



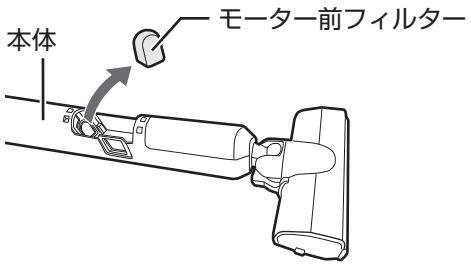
お願い ●**お手入れ後は必ず取り付けてください。(吸引力の低下や、モーターにゴミが入るなど、故障の原因)**

モーター前フィルター

お手入れの目安：吸込力が弱いとき／汚れが気になるとき

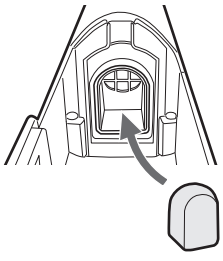
水または薄めた中性洗剤で軽くもみ洗いする。水洗いした後は、充分に乾かしてください。
(モーター前フィルターは、フィルターケースをはずした本体側に付いています)

- シンナー・ベンジン・アルコール類(除菌シートなども含む)やお湯(約40℃以上)は使わないでください。
(変質や変形の原因)



付けかた

元通りに付ける。



お願い ●**お手入れ後は必ず取り付けてください。(吸引力の低下や、モーターにゴミが入るなど、故障の原因)**

付属吸込口 汚れが気になるときに

水または薄めた中性洗剤で洗う。水洗いした後は、充分に乾かしてください。

- シンナー・ベンジン・アルコール類(除菌シートなども含む)やお湯(約40℃以上)は使わないでください。
(変質や変形の原因)

